

地震から大切な命を守るために「備え」について見直そう

近い未来、発生が懸念されている南海トラフ地震により、私たちが住む稲沢市では最大震度は7、市内のほぼ全域で地面がドロドロの液体のような状態になる液状化現象の発生危険度が高く、多くの場所でライフラインが途絶えてしまうと想定されています。自分で、家族で、改めて備えについて考えてみましょう。



問合せ先 防災安全課 ☎32-1275
ID 1000795

どのように備える？

自宅の安全対策

1. 家の中について

過去の震災では、家具の転倒・落下によるけがが非常に多くありました。命を守るために、家具類の転倒や落下などの防止対策をしましょう。また、寝室に大きな家具を置かないことや出口を塞がないような家具の配置にすることも大切です。

2. 住宅、ブロック塀などについて

大きな地震が発生した場合、住宅やブロック塀などの倒壊により自分の命だけでなく、他人の命を奪ってしまう可能性があります。安全を確保するために、定期的に点検を行うことが大切です。

以下の補助制度を活用して自宅の安全対策をしましょう。

- 家具転倒防止器具等購入費補助制度
伸縮ポール、マット、L字型金具、ガラス飛散防止フィルムなど、家具転倒防止器具などの購入費用の一部を補助します。→問合せ先 防災安全課
- 木造住宅の無料耐震診断
住宅耐震改修費等の補助
非木造住宅耐震診断費の補助
ブロック塀等撤去費の補助
→問合せ先 建築課 ☎32-1418



食料や飲料水の備蓄

液状化現象により電気、ガス、水道などのライフラインの途絶が長引くことが想定されているため、食料や飲料水などの備蓄が非常に大切です。最低3日分の食料・飲料水などを確保しておきましょう。

食料や飲料水の備蓄方法はいつもの食材などを少し多めに買い置きし、古いものから消費する「ローリングストック」をお勧めします。賞味期限の近いものや保存した日付の古いものから順に消費し、消費した分を買い足すことで常に一定量の食料・飲料水を確保することができます。

他にも、日用品、簡易トイレなどを用意しておくとも良いでしょう。



災害時、落ち着いて行動するには？



訓練への参加

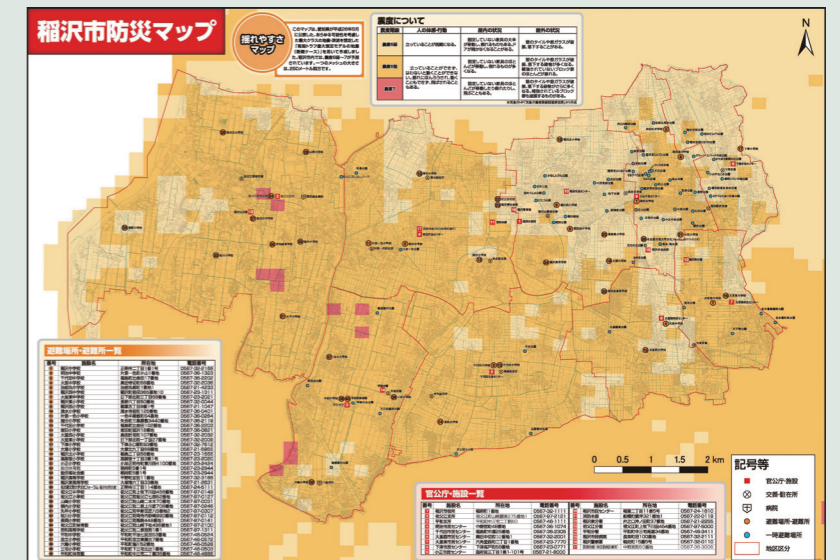
行政区などで開催される自主防災訓練に積極的に参加し、災害時、速やかに動けるようにしましょう。

避難所の確認

市では、令和5年8月1日現在、小・中学校、高校、体育館など40カ所の施設が指定避難所として指定されています。

日頃から防災マップにより、被害想定や避難所・避難場所、避難所までの経路などを確認しましょう。

防災マップは、市のホームページや防災安全課で確認できます。



どこから情報が得られる？

災害情報の入手

1. テレビ、ラジオ
2. インターネット、SNS
3. 同報系防災行政無線
4. 市公式 LINE・Twitter・Facebook
5. 緊急情報配信システム

時間的余裕のない事態に対する緊急情報などを屋外に設置したスピーカーから無線放送で一斉にお知らせするシステムです。↓

放送内容が聞き取れなかった場合などに電話を通じて内容を確認することができる「防災行政無線放送内容確認テレホンサービス」(☎32-9511)を行っています

災害はいつ起こるか分かりません。どんな状況でも冷静に情報を得られるよう、複数の入手手段を確保しておくことが大切です。



近年の自然災害は被害が甚大化する傾向があります。実際に起きてから考えているのは命を守る行動はできません。

地震から大切な人の命を守るための「備え」、それが今私たち一人一人にできる大事なことです。今一度、地震への備えを見直してみましょう。